

楽しみながら前に進みたい

明けましておめでとうございます

旧年中は大変お世話になり、心よりお礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします

2017年新しい年の始まりは、1月6日松山コミュニティセンターで行われた愛媛労連・春闘共闘会議主催の「新春合同旗開き」への参加でした。

私が初めて、こちらに出席させていただいたのは6年前のことですが、お会いしたことのない方ばかり、右も左もわからぬまま、会場を取り巻く赤い旗に圧倒されたことを覚えています。今年は、お世話になつている皆様の中で樂しく時間が過ぎていきました。

昨年は、11月12日に松山で行われた「うたごえ祭典 in えひめ」において「JAL原告団合唱団フェニックス」が高い評価を得ました。残念ながら、私は合唱団に入つておらず、このイベントには参加できませんでしたが、仲間の活躍をとても誇らしく思いました。

12月14日には松山コムズで、JAL争議支援学習集会が開か

れ、元機長、山口宏弥原告団長の「民間航空と戦争法」という講演がありました。山口さんのわかりやすく楽しい口調に会場は笑いに包まれ、難しい話もそうだったのかと皆さん納得されていました。どんなときにも、決して悲観的にならず、笑ってしなやかに対応する私たちの団長山口さんに、今もついていきたいと思つています。あつという間に過ぎていった6年間にはいろいろなことがありました。そして、また新しい一年が始まります。

今年は、どんなことが起ころのか、どんなところに行くのか、どんな人と会えるのか、どんなこと

伊方町出身 二宮斉子

をするのか、楽しみながら前に進んで行きたいと思つています。今後ともどうぞご支援よろしくお願ひいたします。



英國湖水地方の小さなホテルの朝食

JAL愛媛原告を支える会 あの空へ ニュース 帰ろう



発行：JAL不当解雇とたかう愛媛原告を支える会
連絡先：愛媛自治労連会館3F愛媛労連内
松山市三番町8-10-2 TEL 089-945-4526

私も 応援します

”裁判闘争は本当に大変，
今年こそ職場復帰を

建交労愛媛県本部 書記長 大西哲史

2010年の大晦日にJALのパイロットと客室乗務員165名が解雇され、解雇撤回闘争が始まってもう6年になります。当時から原告団の皆さんとはいろいろな集会で顔を合わせていて、いつも元気で明るく、前向きな原告団の皆さんには逆に元気をもらっています。

この闘争はJALだけの問題ではなくすべての労働者の権利に関わる問題です。このような解雇がまかり通れば、いつでも経営者の好きなように労働者が解雇される世の中になってしまいます。また、空の安全についてもベテランパイロットや客室乗務

員の経験や技量を無視し、安全より利益を優先する会社の飛行機には怖くて乗れませぬ。飛行機事故はひとたび起これば重大な事故になります。いますぐベテランを職場に戻し、安全優先へ転換するべきです。

私も日頃からじん肺根絶訴訟に関わっていますが、裁判闘争とは本当に大変なものです。JAL原告団の皆さんも6年という長い月日の中で運動を続けるのは本当に大変だと思います。今年こそ皆さんの闘いが勝利し、職場復帰が実現するように願っています。共にがんばりましょう。

12.14 JAL争議支援学習集会

JAL争議団長元B777機長 山口宏弥さんを招いて



厳しい情勢のなかでも毅然とたたかう争議団のDVD上映や、「凛」とした姿で勝利解決への決意を語った愛媛争議団3人の姿に、参加者は胸を熱くするとともに連帯と支援の思いを確かめ合いました。

争議団からのカンパの訴えには、参加者から4万6千円余の会場カンパが寄せられました。

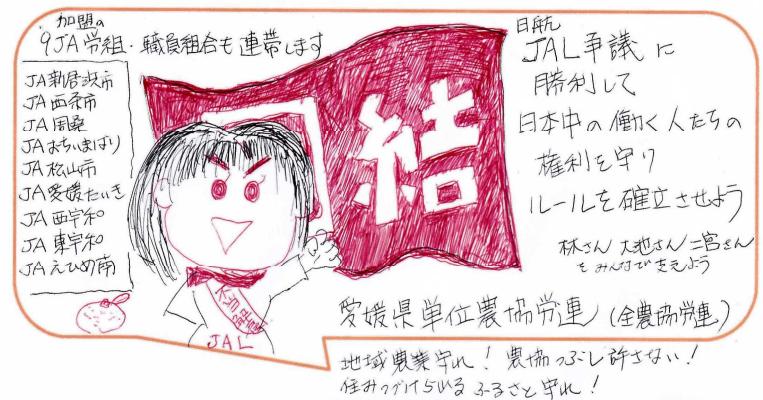
争議団のアイデアで用意された「激励メッセージカード」には、35人からメッセージが寄せられ、争議団をおおいに励ました。本当にありがとうございました。

昨年12月14日にコムズで開かれたJAL争議支援学習集会は96名の参加で大成功し、愛媛のJAL争議団をおおいに励ました。

争議団長で元パイロットの山口宏弥さんの「民間航空と戦争法」をテーマにした講演では、パイロットならではの「秘話」を交えたトークと「戦争法」発動以降の危険な実情報告に、参加者は改めて民間航空の安全と平和の大切さを再認識しました。



会場で寄せられた 激励メッセージの一部を紹介します



JALの貴重なベテラン機長を解雇して空の安全は
争いとと思うのでしょうか？組合なしの不当労働行為
はやめて下さい。飛行機を利用すれば誰もが國民も
会社のヤリ方に断固反対です。